

## 第17期 決算公告

埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷四丁目2番11号

AGSプロサービス株式会社

代表取締役社長 小金井 忠夫

## 貸借対照表

(2021年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流動資産</b>	<b>574,513</b>	<b>流動負債</b>	<b>259,346</b>
現金及び預金	381,175	買掛金	34,518
売掛金	191,724	未払金	13,258
前払費用	1,607	未払費用	134,732
その他	6	未払消費税	39,042
		未払法人税等	31,987
		未払事業所税	1,131
		預り金	4,675
<b>固定資産</b>	<b>49,367</b>	<b>固定負債</b>	<b>26,042</b>
有形固定資産	1,006	退職給付引当金	14,294
建物附属設備	7	長期未払金	11,747
機械装置	0		
器具備品	999	<b>負債合計</b>	<b>285,388</b>
無形固定資産	4,121	<b>純資産の部</b>	
ソフトウェア	4,121	<b>株主資本</b>	<b>338,492</b>
投資その他の資産	44,239	<b>資本金</b>	<b>30,000</b>
長期差入保証金	4,182	<b>利益剰余金</b>	<b>308,492</b>
長期前払費用	296	利益準備金	7,500
繰延税金資産	38,561	繰越利益剰余金	300,992
ゴルフ会員権	2,200	(うち当期純利益)	(83,542)
貸倒引当金	△1,000	<b>純資産合計</b>	<b>338,492</b>
<b>資産合計</b>	<b>623,881</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>623,881</b>

## I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 1. 資産の評価基準及び評価方法

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

##### ① その他有価証券

決算日前1ヶ月間の市場価格等の平均に基づく時価法  
(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、  
売却原価は移動平均法により算定)

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ① 有形固定資産

定率法

##### ② 無形固定資産

定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における  
利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

#### (3) 引当金の計上基準

##### ① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒  
実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収  
可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

##### ② 退職給付引当金

従業員に対する退職給付に備えるため、当事業年度末における退  
職給付債務の見込額に基づき計上しております。  
退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末ま  
での期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によって  
おります。

過去勤務費用は、発生時の事業年度に一括して費用処理してあり  
ます。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均  
残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により按分  
した金額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

#### (4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

##### ① 消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

## II. 追加情報

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響については、今後の収束時期等を正確に予測することは困難な状況にありますが、当社では、当該感染症の影響が翌期にわたり一定期間は続くものの緩やかに改善されていくものと仮定して、繰延税金資産の回収可能性等に関する会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染拡大による影響は不確定要素が多く、新型コロナウイルス感染症の収束時期及び経済環境への影響が変化した場合には、当社の財政状況、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。